

第 15 回香取市地域公共交通協議会会議録

会議の名称	第 15 回香取市地域公共交通協議会	
開催日時	平成 26 年 6 月 18 日 (水) 14 時 00 分から 15 時 35 分まで	
開催場所	香取市役所 (本庁) 7 階全員協議会室	
議長氏名	香取市地域公共交通協議会会長 軸丸真二	
出席者氏名	別紙 1 のとおり	
欠席者氏名	別紙 1 のとおり	
事務局氏名	別紙 2 のとおり	
会議事項	1 議題	2 会議結果
	(1) 香取市地域公共交通協議会規約の改正について (2) デマンド交通試験運行の継続について (3) 地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について (4) バス乗降調査及びインタビュー調査・アンケート調査について	全議案原案のとおり可決
会議の経過	別添 (会議経過) のとおり	
会議資料	① 「香取市地域公共交通協議会 (第 15 回協議会資料)」 ② 「小見川乗合タクシー試験運行に関するアンケート調査票」 ③ 「地域内フィーダー系統確保維持計画 添付様式 (抜粋)」 ④ 「乗降調査及びアンケート調査 結果報告書」 ⑤ 「香取市バス路線図」	
その他必要事項		
会議録の確定		
確定年月日	署 名	
平成 26 年 8 月 19 日	議 長 軸丸 真二	

(会議経過)

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事 務 局	<p>1 開会</p> <p>【配布資料の確認】</p>
軸 丸 会 長	<p>2 あいさつ</p> <p>皆さんこんにちは。本会会長で副市長の軸丸でございます。本日は、お忙しい中、本協議会にご出席いただき誠にありがとうございます。また、先ほど事務局から説明がございましたが、お手元に委嘱状を配布させていただいております。皆様、委員の就任につきまして、快くお引き受けいただきまして、あらためまして厚く御礼申し上げます。</p> <p>さて、本協議会は平成 20 年度に設置されまして、本日が 15 回目になります。近年の大きな取り組みといたしましては、国の補助事業を活用して、小見川地区で乗合タクシーの試験運行を開始するとともに、既存の循環バスのルートの一部変更・休止するなどの改編を行いました。前回、3月17日の協議会では、その乗合タクシーと循環バスの利用状況等についてご報告させていただきました。概ね順調な経過であるところとご報告させていただいたところです。</p> <p>本日の議題は、4つございます。まず、今回から県タクシー協会様から新たに委員を選出させていただきましたので、本協議会の規約の一部改正を協議させていただきます。2つ目は小見川の乗合タクシーにつきまして、利用登録者へのアンケート調査を行いましたので、アンケート結果の概要をご報告しますとともに、10月以降の運行につきまして協議をさせていただきます。3つ目は、乗合タクシーと循環バスについて、引き続き国の補助金を活用したいということで、国へ提出する計画の協議を行います。最後の4つ目は、例年行っているものですが、事業者様のご協力をいただき行っているバスの乗降調査等について、結果を報告させていただきます。</p> <p>本日は皆様の忌憚りの無いご意見やご提案を頂戴したいと存じますので、よろしく願いいたします。</p>
事 務 局	<p>ありがとうございます。それでは、これより議事に入らせていただきます。本協議会規約第7条第1項の規定により、会議の議長は会長となりますので、これより会議の進行を軸丸会長にお願いしたいと思います。</p> <p>では軸丸会長、よろしく願いいたします。</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 香取市地域公共交通協議会規約の改正について</p> <p>はい、では円滑な議事の進行につきましてご協力の程、よろしく願いします。</p> <p>それでは早速議事に入ります。議事の(1)、香取市地域公共交通協議会規約の改正について、まず事務局より説明をお</p>
議 長	

事務局	<p>願います。</p> <p>【(1) 香取市地域公共交通協議会規約の改正について説明】</p>
議長	<p>ありがとうございました。ただ今、事務局から協議会規約の改正について説明がございました。この件につきまして、ご質問あるいはご意見がございましたらお願いいたします。</p> <p>特にこの件はよろしいですか。 では説明があったとおり、協議会の規約について改正したいということで、ご異議ございませんでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
議長	<p>ありがとうございました。では、協議会規約の改正について承認されたということで、次に進めさせていただきます。</p> <p>(2) デマンド交通試験運行の継続について</p>
議長	<p>それでは続きまして議事の(2)でございます。 議事の(2)はデマンド交通試験運行の継続についてということで、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【(2) デマンド交通試験運行の継続について説明】</p>
議長	<p>はい、ありがとうございました。只今、事務局から、デマンド交通試験運行の継続についての説明がございました。本件につきましてご意見、あるいはご質問等がございましたら、お願いします。 はいどうぞ。</p>
林委員	<p>資料の6ページの下半分なのですけれども、電話で予約することについての抵抗感について、ある、ない、というのが良くわからなかったのですが、これはただ面倒とかいうことでなくて、何か想定する特別な理由と言うのはあるのですか。例えば複雑な心境の者もあるのではないかとというのは、推測されるその複雑な心境というのは、具体的にどのようなものですか。</p>
議長	<p>事務局お願いします。</p>
事務局	<p>抵抗があるという明確に答えたのは7.9%ということなのですけれども、逆に全く抵抗がないとハッキリ答えていただいたのも7割ということで、他の設問に比べ不明の率が非常に高くなっているということで、何とこたえたものかなあという方が多かったのかなと思ひまして、それを複雑な心境の者もあるのではないかと表現させていただいたのですが。</p>
林委員	<p>事務局さんの方で考えている、この抵抗があるとか抵抗がないとかいうのは、例えば面倒である、面倒でないと簡単に</p>

	<p>言わないで、電話するのが抵抗がある、抵抗がないというのは、多分、想定しているものがあるのでは。電話するのに電話代がもったいないとか？</p>
<p>事務局</p>	<p>今まで循環バスを運行していた範囲に代わってこのデマンドタクシーを運行させていただくということで、今までは電話などせずに循環バスに乗れたものでしたので、それに代わって逆に言うと電話をしなくては使えないものを導入してしまったということで、そういう趣旨で質問させていただきました。</p>
<p>林委員</p>	<p>面倒と言うことですね。単純にそういうこと。特に特別に想定している理由と言うのはないのですよね。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。</p>
<p>林委員</p>	<p>それからもう一つ。アンケート結果から見る課題という所に、利用者さんのこれから求めるものとかは。利用しない理由の所に、病院の帰りの1時間前予約というのがすごくたくさん出ていると思うのですけれども、それは課題と言うことにはならないのですか。課題とは考えていない、それは絶対無理ということでしょうか。それともこれは特に問題でないということでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>課題としては捉えておるのですけれども、やはり乗合タクシーということで、普通のタクシーであれば電話をして直ぐ来ていただいて乗ると言う運行になるのですが、乗合タクシーと言う形態になりますと、1時間が適当なのかと言うのはあるのですが、ある程度一緒の方面に行かれる方を募ってなるべく2人以上の乗合を得て運行するというところで、色々導入にあたっては周辺の自治体さんですとか1時間前というところが多かったというのもあるのですけれども、1時間前なのか30分前なのかというところを検討した結果、1時間前ということでこの運行を昨年から開始したところでございます。30分前というお話もいただいておりますので課題としては捉えております。ただ、そこまで行くと課題の整理の4番のところまでどの程度まで行けるのか、30分前まで行けるのかということもありますので、普通のタクシーの運行形態に近づいて行ってしまうということには十分配慮していかなければならない、ということで考えております。</p>
<p>林委員</p>	<p>そうですね。そのとおりですね。わかりました。</p>
<p>議長</p>	<p>その他にございますでしょうか。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>はい。料金400円ということなのですが、距離はどのくらいまでで400円なのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>区域運行ということで、小見川中央小学校と南小学校と東小学校の通学区域で、その区域内が原則なのですが、定額で1回400円ということになっております。距離に関係なく</p>

鈴木委員	1回400円です。
事務局	その区間だけは400円ということなのですか。
事務局	行き先なのですが、医療機関ですとか公共施設とかに限らせていただいておりますが、その小学校の区域内で距離ではなくて1回400円という形にしております。
鈴木委員	よくわからないのですが。
事務局	補足させていただきます。今の3小学校区の中で、出発点は自宅もしくはあらかじめ定めた3カ所になります。3カ所は公共施設ですとか病院ですとかが中心になります。行き先についてはその3カ所プラスご自宅までが目的地という形で、1回の利用あたり400円。ということでお分かりいただけますでしょうか。
鈴木委員	料金400円って負担の割合は乗った人が400円で、市の方の負担はいくらになるのですか。タクシー会社への助成金のようなものは。
事務局	千葉交タクシー様に委託しているところなのですが、半年で500万円ちょっとなのですが運行を委託しているところにして、受け取った運賃につきましては市の方に入れていただくような形にしております。
事務局	委託費が500万円ちょっとですが、収入としてはその1割程度でして、残りの9割につきましては市の負担になっております。
鈴木委員	わからないかな。タクシーというのはメーター制ですよ。それをメーター制を貸切にして乗るわけですよ。例えば600円かかるところを1人しか乗らなかった場合にタクシー会社に負担金を払わないといけないわけだよ。それを聞いてるわけ。
事務局	私、2年位前ですがテレビでやったので茨城県の利根町に行ったら、自家用車で1回100円で障害者とか高齢者をドア・ツウ・ドアでボランティアでやってるのですよね。軽の乗用車使ったり、一般車両を使ったり。まあ、道交法で違反か違反でないか、料金が100円ということですからまあわかりませんが、これは良いシステムだなと見てきた経緯があるのです。今まだやってるのか、やってないのか2年たっているのかわかりません。そういったことで400円で1人でもタクシー会社がやってくれるのかどうか。そのあたりが長続きするか、しないかは料金設定で市の負担割合とかそういうもので色々問題になると思うのですよ。ですから、その細かな説明を聞きたかったのですよ。
事務局	はい。タクシーなのですが、通常のメーター制ではございませんで、タクシー会社さんがお持ちの普通のセダン型の車両を2台お借りしまして、市の方で半年で500万円ちょっとになるのですがその2台を言わば借り上げているという形

	<p>になります。それでお客様からは1回乗るときに400円、代わりに徴収していただきまして、お客様からお預かりした運賃については市の方に収めていただくという形にしております。なので市から見ますと、車2台を半年で500万円で借りまして、運賃につきましてはその1割程度の額になるのですが市の方に入れていただいているということですので、500万円の内9割くらいは市の負担になっているという形になっております。</p>
事務局	<p>補足ですが、循環バスの方が1回300円で運行させていただいております。タクシー形態にしますので便利になると見込んで100円上げさせていただいて400円という設定をして試験運行開始という形をとらせていただきました。今後は運行結果を踏まえまして、それが適当であるかどうかというところも踏まえて今後料金を設定していきたいと考えております。</p>
鈴木委員	<p>わからないな。今借り上げているのは2台ということですか。</p>
事務局	<p>そのとおりでございます。</p>
鈴木委員	<p>それはセダンと何タイプですか。</p>
事務局	<p>2台ともセダン型でございます。</p>
鈴木委員	<p>セダンですか。セダンだと乗りづらいよね、乗合の場合は。</p>
事務局	<p>そういう方もいらっしゃると思います。</p>
鈴木委員	<p>お互い他人同士でしょ、乗り合うのに。 はい、わかりました。セダンではダメだな・・・。</p>
藤田委員	<p>参考までなのですが、小見川地区で、弊社、千葉交タクシーで乗合タクシーを運行させていただいているのですが、成田も芝山もうちの方でやっているのですが、セダン型のタクシーでなくて9人乗りのワンボックスで芝山町も成田もやっていたのですが、結果的に乗合率は低いですよ。ですからそれで芝山町も成田市もみんなセダン型に替えてしまいました。ですからタクシーと違いますので、料金はタクシーの何分の一で運行できるわけですからタクシーと比較するとちょっと違和感があると思います。乗合率から考えるとセダン型で十分だと思えます。成田と香取と芝山で今運行している中で言いますと結果的にセダンで十分対応できるかなという感じがします。</p>
鈴木委員	<p>乗る人数が少ないということ・・・。</p>
藤田委員	<p>そうですね。乗合率がどうしても・・・。まだ香取市さんの方が乗合率は高いと思います。だけれども全体的にお客様が乗るといのはほとんどないので。例えばそれが5人、6</p>

鈴木委員	<p>人とかもっと乗合率が高まってくればセダンじゃなくで先ほど言ったワンボックスも考えても良いと思いますね。</p> <p>利根町は軽でやってたね。1000円で。</p>
藤田委員	<p>ただ料金につきましては、当初成田地区で300円でやっていたのですけれども、結果的に300円でやるというバスとかのそこを運行しているバス会社を侵食して、タクシーもそうなのですけれども、結果的にこのデマンド型のタクシーを運行する時間帯以外でもバスとかタクシーは動いているものですから、これをあまりにも金額的に安くしてしまうと交通事業者はみんな潰れちゃいますよね。そういう弊害も起きます。ですから成田につきましては、やっぱりこういう交通会議を開いて、「300円はあまりにも安すぎる。ですから500円にして欲しい。」ということで交通事業者が市の方に要望して、今の価格が500円なんです。</p>
鈴木委員	<p>今、一番世の中で弱者というのは高齢者で、免許証を持っていない、要するに自分で移動できない人、これが一番世の中の弱者だと思うのだよね。で、その対策として市でこれをやってくれているのでしょうけど、やっぱり歳を取ると足が一番弱ってきて歩けない。やはりそうするとドア・ツウ・ドアでないとダメだということバスはいらないということになってしまふ訳ですよ。すると頼るところはタクシーだと。そうすると今、運行者から聞くとところによると乗る利用率が少ないのでワンボックスはいらない、セダンで良いということになると軽自動車でも3人乗れる訳だよね。そういうのも良いのかなと思うのですけどね。すると運行費も経費もかなり安くなってしまふと思うのですけどね。</p> <p>これは1年間の試験ですか。</p>
議長	<p>そうです。昨年10月1日から始めてまして、取り敢えず1年間で試験運行を始めたのですが、これから確認してお諮りするのですが、13ページにあるとおりさらに1年延長したいということで皆さま方にお諮りしたいと思います。もちろんその先には本格運行というのがあるのですが、それにあたっては13ページにあるとおり、例えば利用者の多くが福祉タクシー券を利用されている方も結構いるとか、料金の関係でいくら位が良いのかですとか、そういうことをもう1年利用実態を踏まえ試験運行をやりまして、次は本格運行へということで事務局案としては考えています。</p> <p>ですから方向性としては、1年間試験をやってきたのをさらに今年10月から延長して、来年の9月末までもう1年間は今の形で続けて、ここにある課題を検証していくと・・・。</p>
鈴木委員 議長	<p>試行錯誤ということですね。わかりました。</p> <p>すみません。私の方から言うのは何なのですが、課題に上がっているのですが、福祉タクシー券を利用している方が結構高率と言うことですが、先ほど事務局の説明が福祉タクシー券は1枚500円のを月に2枚、年24枚で、対象者</p>

事務局	<p>が76歳以上の一人暮らしの方、あるいは世帯全体で65歳以上の方で移動が困難な方との説明があったのですが、これは高齢者だけですか。障害者の方は対象じゃないですか。</p>
事務局	<p>説明が漏れまして申し訳ございません。高齢者通院タクシー券とあわせまして障害者タクシー券というのをごさいまして、あわせて福祉タクシー券と呼んでおります。障害者タクシー券につきましては身体障害者手帳ですとか療育手帳保持ですとか、要件がありましてそういう方につきましてはやはりタクシー券を配っていると。行き先につきましてもそういった方については医療機関外も可能と言う形で、あわせて福祉タクシー券と言うことで行っております。</p>
鈴木委員	<p>ちょっといいですか。タクシー券、障害者2級でも家族に車がある人は今もらえませんか。そのタクシー券の配布の条件はどういう条件でやっているのですか。</p>
事務局	<p>すみません。詳しくは福祉部門で所掌しておりまして、詳細は手元に用意しておりませんので、後ほど調べまして回答させていただくということですのでよろしいでしょうか。</p>
鈴木委員	<p>もらえる人とももらえない人がいるのですよね。後で資料をもらえますか。</p>
事務局	<p>はい。わかりました。</p>
議長	<p>その他ございますでしょうか。</p>
議長	<p>議題2につきましては、先ほど鈴木委員とのやり取りでお話ししましたが協議事項でございまして、昨年10月から今年の9月末までということ1年試験運行をしているわけですが、色々と課題が見えてくる中で今と同じ形で来年の9月末までもう1年間延長して、13ページに書いてある課題を検証して本格運行に向けて試験運行をやっていくということ市としては考えておりますが、その件につきましてはご意見いかがでしょうか。</p> <p>試験運行を1年延長するという事項については、皆さま方よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(「異議なし」の声)</p>
議長	<p>ありがとうございます。では、試験運行をもう1年間継続することについて、承認されたということで進めさせていただきます。</p>
議長	<p>(3) 地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について</p> <p>続きまして今の議題に関連するのですが、議事(3)地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について、事務局から説明をお願いします。</p>

事務局	<p>【(3) 地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について説明】</p>
議長	<p>はい、ありがとうございました。事務局の説明が詳細、多岐にわたりましたし、今回委員も入れ替わっておりますので若干私からもまとめて申しますと、これは協議事項でございますが、先ほどご議論いただきました乗合タクシーと小見川循環バスの西ルートについては今までも国の補助を受けていたわけです。引き続き国庫補助を受けるためには16ページから19ページにあるような計画書を提出する必要があるということですので皆さまにお諮りしているところです。おそらく国庫補助を受けることについてはご承認いただけるのかという感じがするのですが、今説明があった内容、例えば国庫補助を受けるにあたっては今後どのような利用者を見込んでいるかという話もありますし、小見川の西ルートが高校生の利用が多くて見通しが変わるという話もありますので、事務局の説明にご不明な点等がありあましたらご遠慮なくご質問、ご意見をいただければと思います。</p> <p>何かご質問ございませんでしょうか。よろしいですか。 それでは計画の策定につきまして、この16ページ以降、また別添の資料のように作りまして、国の補助を受けるには6月末までに提出することが必要ということでございますので書類をそろえまして、乗合タクシー及び循環バスについて引き続き計画を提出するというご承認いただけますでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の声)</p>
議長	<p>ありがとうございます。では、ご承認されたということで進めさせていただきます。</p>
議長	<p>(4) バス乗降調査及びインタビュー調査・アンケート調査について</p>
議長	<p>続きまして最後の議事ですが4番目、バス乗降調査及びインタビュー調査・アンケート調査につきまして、事務局からまず説明をお願いします。</p>
事務局	<p>【(4) バス乗降調査及びインタビュー調査・アンケート調査について説明】</p>
議長	<p>はい、ありがとうございました。 ただ今、事務局からアンケート調査につきまして説明がありましたが、本件につきましてご質問、あるいはご意見がございましたら、お願いいたします。</p>
議長	<p>今、事務局からあったとおり、事業者からアンケートをとっているのですけれども、バスの乗務員の方にアンケートをお願いしたということでこのようにまとまっているのです</p>

橋本委員	<p>が、もし事業者さんの方で何かあれば。</p> <p>与田浦線を運行しております関鉄観光バスの橋本でございます。与田浦線の利用状況が悪いということで、見直しが必要と思うのですが、潮来から昼間の時間帯1便来ているのがありまして、補助金に問題なければ潮来車庫については廃止したいと考えているところですがいかがでしょうか。</p>
議 長 事務局	<p>事務局いかがでしょうか。</p> <p>はい。現在の運行にあたりましては国の財源は使わない市の単独事業ということで運行させていただいているところがございます。運行形態の変更ということにつきましては、また検討課題ということで、今後、話し合いをさせていただきたいと考えております。よろしく願いいたします。</p>
橋本委員 事務局	<p>あわせて佐原の駅前広場整備が行われている訳ですが、あわせて色々見直しを図っていきたいと考えております。</p> <p>はい、では今後ともその都度ご相談ということによりよろしくお願いしたいと思います。</p>
議 長	<p>その他、何かございますでしょうか。</p> <p>はい。では議事4につきましては報告ということですが、今、関鉄さんからもお話がありましたが、調査の結果を踏まえまして今後とも引き続き検討していただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>では予定された議事は以上でございますが、本日の会議全般についてご質問、ご意見等がございましたらお願いいたします。</p>
泰間副会長	<p>はい。千葉運輸支局でございます。先ほどデマンド交通のアンケート結果から、利用者の利用促進が今後の課題になるとのお話があったけれども、まあ、なかなかデマンド、県内でも数多くやっていますが、すぐに皆さん理解をして乗っていただけるのは稀でございます。ですので、今回まだ1年間経っていませんので、この結果がどうなるというのは悲観することではないので、まずは利用促進で説明会とか、基礎的なことをしっかり取り組まれるとよいと思います。その結果、利用が少ないとか他の施策との関係で今後どうするかというのを検討しないといけないと思いますので、その辺りの利用促進の案件をしっかりと進められたらいいかなと思った次第です。</p>
議 長	<p>これは今回のアンケートのとおり浸透しきっていないというのがありますので、引き続き利用促進に取り組んでいくということによりよろしいですね。</p> <p>はい。その他、皆さま方、何かございますでしょうか。</p>

事務局	<p>では最後に、事務局から何かございますでしょうか。</p>
事務局	<p>長時間に渡り慎重なご審議、ありがとうございました。 事務局からは特にごさいませんが、本日、説明させていただきました内容につきましては、後日でも、お気づきの点等がございましたら、お手元にお配りしました用紙にご記入いただきまして、FAXなどで事務局の方へお送りいただければと思います。事務局からは以上でございます。</p>
議長	<p>以上で、議事が終了いたしました。 これをもちまして、議長の任を解かせていただきます。 皆様には、ご協力頂きまして心より感謝申し上げます。ありがとうございました。</p> <p>4 閉会</p>
事務局	<p>これをもちまして、第15回香取市地域公共交通協議会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。</p>

会議の名称 第15回香取市地域公共交通協議会
 開催日 平成26年6月18日(水)

出欠席者名簿

委員氏名		出欠
会長	軸丸 真二	出席
副会長	泰間 隆	出席
委員	伊藤 昌央	欠席
委員	花崎 幸一	出席
委員	土屋 信乃夫	出席
委員	高橋 實	出席
委員	藤田 信一	出席
委員	鵜澤 尚夫	出席
委員	橋本 定廣	出席
委員	角谷 真司	出席
委員	田谷 志郎	欠席
委員	飯田 謙二	欠席
委員	岩船 保	出席
委員	山口 周一	出席
委員	松川 忠史	出席

委員氏名		出欠
委員	八角 和爾	出席
委員	林 浩美	出席
委員	本宮 敏雄	出席
委員	石川 一美	出席
委員	石川 義行	出席
委員	鈴木 喜満	出席
関係職員	吉田 玄	出席
関係職員	篠塚 寿	出席
関係職員	澁谷 武男	出席
関係職員	大堀 常昭	出席
関係職員	林 高志	出席
関係職員	伊藤 雅啓	出席
関係職員	石毛 義則	出席
関係職員	平野 安敏	出席

出席 26人 ・ 欠席 3人

香取市地域公共交通協議会 委員名簿

(平成26年6月18日現在)

No.	役割	氏名	所属団体及び役職名
1	会長	軸丸 真二	香取市副市長
2	副会長	泰間 隆	国土交通省関東運輸局 千葉運輸支局首席運輸企画専門官
3	委員	伊藤 昌央	千葉県総合企画部交通計画課 企画調整班長
4	委員	花崎 幸一	一般社団法人千葉県バス協会 専務理事
5	委員	土屋 信乃夫	一般社団法人千葉県タクシー協会 専務理事
6	委員	高橋 實	北総自動車株式会社 代表取締役
7	委員	藤田 信一	株式会社千葉交タクシー 常務取締役
8	委員	鵜澤 尚夫	千葉交通株式会社 常務取締役
9	委員	橋本 定廣	関鉄観光バス株式会社 代表取締役
10	委員	角谷 真司	ジェイアールバス関東株式会社 八日市場支店長
11	委員	田谷 志郎	東日本旅客鉄道株式会社 佐原駅 駅長
12	委員	飯田 謙二	千葉交通労働組合 書記長
13	委員	岩船 保	千葉県香取土木事務所 所長
14	委員	山口 周一	香取警察署 交通課長
15	委員	松川 忠史	市民（佐原地区）
16	委員	八角 和爾	市民（小見川地区）
17	委員	林 浩美	市民（山田地区）
18	委員	本宮 敏雄	市民（栗源地区）
19	委員	石川 一美	香取市社会福祉協議会 事務局長
20	委員	石川 義行	福田線バス路線をまもる会 会長
21	委員	鈴木 喜満	香取市高齢者クラブ連合会 会長
1	関係職員	吉田 玄	総務企画部長
2	関係職員	篠塚 寿	市民福祉部長
3	関係職員	澁谷 武男	経済環境部長
4	関係職員	大堀 常昭	建設水道部長
5	関係職員	林 高志	教育部長
6	関係職員	伊藤 雅啓	小見川支所長
7	関係職員	石毛 義則	山田支所長
8	関係職員	平野 安敏	栗源支所長
1	事務局	伊藤 勝弘	企画財政部企画政策課長
2	事務局	本宮 茂幸	企画財政部企画政策課企画調整班 班長
3	事務局	石毛 貴光	企画財政部企画政策課企画調整班 主査
4	事務局	上野 太一郎	企画財政部企画政策課政策班 主任主事